



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

日本全県アウトドア巡り

その39

高知県



鍛冶職人に弟子入り マイ・ナイフを自作!

(高知県・四万十市)

誰でも鍛冶職人になれる場所が高知県・四万十市にある。1日で本格的な鍛冶仕事を体験できて、自作のマイナイフまでゲットできる。そんなアウトドア好き垂涎の場所を目指して!

ビール読者であれば、きつとお気に入りのナイフの1本や2本は持っているはず。でも、「自作の」ナイフとなるとどうだろう。憧れるけど、そこはハードルが、高……くないのだ! 今回訪れた四万十市の「工房くろがね」では、たった1日で本格的な自作マイナイフが作れる体験を実施。とはいえ、作業自体は本格派。火造りからはじまり、削り、銘入れ、焼き入れをして、最後に研いで仕上げる。まるまる鍛冶仕事を体験できる日本でも珍しい場所なのだ。作れるモノのバリエーションも豊富。様々な形のナイフや、包丁など自分のこだわりを注ぎ込んだ入魂のひと振りを生み出すことが可能。中には、ゲーム

今月の師匠

子供さんでも体験できます



工房くろがね
林信哉さん(銘・風子)

田舎暮らしがしたいという理由で、四万十に辿り着いたのが17年前。そこから先代の師匠の下で鍛冶修業を開始。若かりしころにはニュージブラのロングトレイルを歩いた経験も持つ。

今月のマドンナ

鍛冶は初体験! 少しドキドキ



西内姫乃さん

四万十生まれの四万十育ち。以前は四万十の当地アイドルグループ「レーヴ」に所属。趣味はオンラインゲームというかなりのインドア派。今回の鍛冶体験で、アツナイ系に目覚めるのか?!

赤くなるまで熱した鋼材を叩いて、成形していく。本来は鋼材をそのままやっついで掴むけど、素人がやるときは、あらかじめ鉄の棒を溶接し、それを持ち手に。

もしかしていま
鍛冶職人っぽい？



コークスの火で、材料となる鋼と地金(鉄)を合わせた鋼材を熱していく。だいたい800度Cくらいまで熱してから加工をする。コークスを使うのは火力が木炭よりも強いからだそう。



熱した鋼材を、使う分だけ鎚で叩いて切り取る。最初は豪快に。最後は材料が飛ぶと危険なので、優しく叩いて切り取る。すぐに冷めてしまうので、熱して叩くを何度も繰り返す。

ナイフのおおよその形ができたなら、グラインダーを使って削っていく。巻き込み防止のために、手袋は外す。豪快に火花が飛び散るので、最初のうちはややビビる。



タガネを使って、自分の好きな文字を銘入れる。今回は姫乃さんの「姫」の字を。カクカクした字のほうが入れやすい。当然、ひらがななどは高難度。

体験でも工程は本格派 赤く輝く鋼を叩き 入魂の一振りを!!

素人が1日で!?
ちよいすくくない?

いますす!
サツと上げて!



見よ、この完成度!
刃の輝きにうっとり

これまでに体験で作った作例の1部。1日みっちりやれば、包丁などの製作も可能だ。



緊張の焼き入れ! 明るいオレンジになるまでナイフを熱して、水中へじゃぼん。刃の表面の水泡が消える寸前で水から上げる。タイミングを間違えると、割れてしまうことも……。

に登場した伝説の剣を作ろうとした猛者もいるんだとか。マドンナ役の姫乃さんが、真っ赤に焼けた鉄を、鎚で打って成形していく。最初はへっぴり腰だったけど、何度か繰り返すうちに慣れてきて、カンカンと小気味よい音を響かせる。すっかり女性鍛冶職人の貫禄だ。難しいところ、自信がないところは、先生がしっかりサポートしてくれるので、子供でもかなり

の仕上がりのものを作れる。姫乃さんも、順調に作業をこなしていき、緊張の焼き入れ(失敗すると割れたりする)も無事完了。「お父さんにプレゼントしようかな」とニッコリ。今回の1日体験は1人1万3000円(2名で1人9000円、3名以上で1人7500円)。これで鍛冶職人を独占できると考えればとてもリーズナブルだ。工房のすぐ側を四万十川が流れるとい

農家さんの手料理が バイキングで楽しめる!



しゃえんじり
④高知県四万十市
西土佐口屋内76
☎0880(54)1477

工房からすぐの場所にある、農家レストラン「しゃえんじり」。地元の農家さん手作りのお総菜をバイキング形式で楽しめる。おかわり放題で1300円はかなりのお得感。

古代から伝わる “たたら製鉄”で 玉鋼を作り出す 上級者体験も!



玉鋼という高級素材を作り出す、たたら製鉄の体験ができるのはここだけ。たたら製鉄で作った玉鋼を使った古式鍛造研修などもある。たたら製鉄コースは6万3000円で、古式鍛造コースは5万3000円。ともに3泊4日で、なんと宿泊費・食事代も込みなのだ!

う、アウトドア好きにはたまらない環境というのもうれしい要素。今回の1日鍛冶体験のほかに、3泊4日で、より本格的な鍛冶仕事を学べるコースもある。四万十川をのんびりカヤックで下ってから、河原でキャンプをしながら工房に通う。もちろん、旅の土産は自作のマイナイフ。そんな旅ができたら最高じゃない!? うん。今年の夏はそのプランで決まりだな。



作業途中にクールダウン 暑い鍛冶場での 必須アイテム!

火を扱う鍛冶場は、夏になるとかなりの暑さに……。そんなときには冷えたドリンクでこまめに休憩をいれて、身も心もリフレッシュ。冷えた状態をキープできる、サーモスの真空断熱構造のタンブラーとポットは、鍛冶場の必須アイテムに決定です!

どんな場所にも馴染む、シンプルなデザイン。保温・保冷ができるので、一年を通して活躍。ワイドな広口で、大きな氷もそのまま入る。ワンタッチレバーで片手でラクに注げる。ステンレスポット / THV2001 20ℓ 7000円



シンプルイズベスト!!
大容量ステンレスポット



真空断熱構造で飲みごろ温度をキープ。結露しにくいという特徴も。ビールはもちろん、氷も溶けにくいので様々な飲み物に。外側が熱くならないので、ホット用としても。真空断熱タンブラー / JDE-420C 420ml 5000円

保温・保冷ともにOK
使い勝手良好タンブラー